

有段者ら100人 新年稽古始め

漱玉館で県剣道連盟

県剣道連盟の新年稽古始めが3日、可児市大森奥洞の武道場「漱玉館」で開かれた。県内の八段剣士を含む有段者ら100人が集い竹刀を交えて汗を流した。

漱玉館での稽古始めは2022年から開き、4回目。同館を拠点とするバローホールディングス(HD)の剣道部も参加した。同館師範の8段高石和摩さん(75)をはじめ、中学生から80代ま

で実力者が稽古に臨んだ。

4段の田代正美バローHD会長兼CEO(77)、7段の今井雅人衆院議員(62)岐阜4区にも参加した。

田代さんは「道場は5年目に入った。いろんな形で盛り上げてもらい、認知度が上がっている。毎年進歩させていきたい」とあいさつ。参加者は一列に並んで正座し、黙想をした後、防具を着け、かけ声とともに打ち合った。八段剣士も加



稽古始めで気合を込めて一撃を繰り出す参加者
＝可児市大森奥洞、漱玉館

わり、緊張感の漂う中、気合を込めて技を繰り出していた。男子チームの4月結成を目指す剣道部の久木原裕二監督(49)は「幅広い年

代の人と稽古ができ、いい刺激になった」と話した。稽古後、参加者には豚汁やぜんざいが振る舞われた。

(小森直人)